

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	29	1	基本事務事業名	市営住宅管理事務	事務事業名	市営住宅管理事務	公的関与	5	シート作成日	令和4年8月10日			
	部局名	建設部		課名	住宅課	主務課長名	妹尾 光雄	シート作成者名	松永晃					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画	事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(4) 住宅施策の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	令和 17 年 ~	令和 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策	(3) 市営住宅の整備・活用				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	公営住宅法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市営住宅入居者及び市営住宅入居希望者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与します。										
			今年度	市営住宅を適正に維持管理し、住宅困窮者に市営住宅を提供します。住宅使用料負担の公平性を保つため、収納率の向上を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市営住宅及び住環境(共用スペースの美化)の維持管理を行います。													
	② 定期的(年3回)入居者募集を行い、住宅に困窮している方に住宅を提供します。													
	③ 使用料を法律に基づき決定し、徴収します。													
	④ 住宅使用料等の滞納者へ「督促状・催告書」の発送、保証人へ「納付指導依頼書」を送付し、納付を促します。													
	⑤ 収入超過(高額所得)者には、民間賃貸等への転居の斡旋及び明け渡し請求等を実施します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
	市営住宅の提供	入居数／募集数		%	目標	100	100	100	100					
					実績	79.2	84.6							
	収納率(現年度使用料)	収納額／家賃調定額		%	目標	93	94	94	100					
					実績	94.1	94.1							
	収納率(過年度使用料)	収納額／家賃調定額		%	目標	10	10	10	100					
実績					4.5	5.2								
DO	予算費目	会計	一般会計			款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
	直接事業費	令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考						
		国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	54,169 千円		50,987 千円		55,672 千円							
		一般財源	千円		千円		千円							
	計(A)	54,169 千円		50,988 千円		55,672 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	5.627 人	34,424 千円	5.627 人	34,261 千円	5.627 人	34,000 千円						
		臨時・嘱託職種	事務補助員		事務補助員		事務補助員							
臨時・嘱託工数・経費		0.500 人	940 千円	0.500 人	942 千円	0.500 人	940 千円							
全体事業費(A+B)		89,533 千円		86,191 千円		90,612 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	住宅に困窮している人に公営住宅を提供していますが、近年では住宅の老朽化が進み住民ニーズに合った住宅の提供が、困難になってきています。今後住民ニーズに合った住宅を提供するために、民間事業者の活用についても検討し、維持管理費等の財政負担の削減に努めます。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	低所得者や災害・失業などで住居に困窮した住民のセーフティネットの役割を果たすため、今後も市営住宅を適正に維持管理していく必要があります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	コロナウイルス禍の社会情勢が不安定な中、現年度の収納率については、概ね達成できているが、過年度についても収納率を上げるよう努めます。入居率については、今後市民のニーズに合った住宅を提供できるよう努めます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	耐用年数超える住宅が増え、修繕費等が増加している。また、使用料については、公営住宅法で算定方法を定められており、低廉なものとなっています。施設・設備等を計画的に改善することにより、LCC(ライフサイクルコスト)の削減に努めます。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	3	A	3	4	3	3	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	人口類似自治体と比較しても、阿波市の住宅管理戸数は多い。近年では、入居募集に対して入居率が低く、空き住宅が増加傾向にあります。また、耐用年数を超過した住宅が増え、老朽化が進み修繕費等が増加傾向にあります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的な改善を実施することにより、施設の長寿命化とLCC(ライフサイクルコスト)の削減を図り、ニーズに合った良好な住宅の提供に努める。合わせて集約・除却を行い経費の削減に努めます。「阿波市債権者マニュアル」等を活用し、滞納者に対して適正な債権管理を行います。					管理している市営住宅の約6割が耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、年々修繕費等が増加傾向にあります。今後も管理コストの縮減を図り、計画的な改修や適正な修繕の実施に努めます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	29	基本事務事業名	地域住宅支援事業		事務事業名	阿波市公営住宅等長寿命化事業		公的関与	5	シート作成日	令和4年8月10日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	妹尾 光雄		シート作成者名	松永晃				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 住宅施策の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和 17 年 ~		令和 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(3) 市営住宅の整備・活用				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公営住宅法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市営住宅											
		目的(どういふ状態にしたいのか)		最終的	市営住宅等の需要見込みを踏まえた将来的な活用に向け、「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき住宅の集約・除却、改善や管理を平準化することにより、施設の長寿命化とLCC(ライフサイクルコスト)の縮減を図ります。										
				今年度	旧大野神団地の除却。池田団地の外壁・屋上防水工事及び大野島団地の外壁・屋上防水工事等、長寿命化改善事業を実施します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 長寿命化計画の見直し・策定を行います。														
	② 市営住宅の長寿命化(外壁・屋上防水)改善工事を行います。														
	③ 市営住宅の集約化を図り、建て替え(統合建替え)又は除却を行います。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
	住宅管理戸数		「阿波市公営住宅等長寿命化計画」で設定した管理戸数		戸		目標	923	923	923	923				
							実績	1014	1014						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	13,678 千円		1,556 千円		56,820 千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	47,105 千円		3,944 千円		113,068 千円								
		計(A)	60,783 千円		5,500 千円		169,888 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	5.627 人	34,424 千円	5.627 人	34,261 千円	5.627 人	34,000 千円							
		臨時・嘱託職種	事務補助員		事務補助員		事務補助員								
臨時・嘱託工数・経費		0.500 人	940 千円	0.500 人	942 千円	0.500 人	940 千円								
全体事業費(A+B)		96,147 千円		40,703 千円		204,828 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	市営住宅の多くが、建築後概ね30年を超える中、住民のニーズと供給にずれがあり、「健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し」とある公営住宅法の目的達成のため、居住性の向上を図る一方で、集約・除却等により維持管理コストの縮減を図る必要があります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、中長期的な視点から「維持管理」「改善」「用途廃止(除却)」「建替え」を推進することで、市民ニーズに合った公営住宅の提供と維持管理コストの縮減に努めます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	住宅管理戸数については、概ね目標に達しているものと思われるが、今後の長寿命化(改善)や用途廃止(除却)については、財政状況を踏まえ、補助金等活用しながら推進していきます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的に事業を実施することで、より一層のコスト削減を図ります。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	市営住宅において耐用年数を超える住宅が、全体の6割を占めており、老朽化が進んでいる現状があります。また、市町村合併以前に建築された住宅の建設時期に偏りがあり、ほぼ同時期に耐用年数を迎える住宅が複数あります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、建築基準法の耐震基準を満たす住宅については、長寿命化等の改善を図ることにより、更新時期の平準化を図っていきます。また、すでに耐用年数を超えた住宅等については、除却等を進めていきます。					「阿波市公営住宅等長寿命化計画」に基づいた、計画的な住宅整備が図れるよう、建替事業や長寿命化改善事業を適正に実施していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	29	基本事務事業名	一般住宅支援事業	事務事業名	定住促進リフォーム補助金事業	公的関与	5	シート作成日	令和4年8月10日		
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	妹尾 光雄		シート作成者名	松永晃	
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策) 5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (4) 住宅施策の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 24 年 ~		令和 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策 (2) 良質・安全な住宅建設及び改修の促進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市定住促進リフォーム補助金要綱		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市に住民登録している市民で、補助金の交付確定日から市内に引き続き10年以上定住する人及び、阿波市に申請日から3年以内に転入した人又は転入する人で過去5年間阿波市に住民登録がない人。									
		目的(どういふ状態にしたいのか)	最終的	現在定住している住民の住宅環境の向上により、定住人口の維持を図りまた、転入者の住宅改修を支援することによる定住人口の増加を図る。併せて市内の施工業者を活用することで、阿波市内の消費活動の活性化を図ります。								
			今年度	認められた予算の範囲内で、補助事業を実施し、定住人口の維持と転入人口の増加を図る。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 定住促進リフォーム補助金事業の広報事務を行います。											
	② 補助金交付申請受付及び交付決定に関する事務を行います。											
	③ 実績報告書提出による現地確認等の交付確定事務を行います。											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
	定住リフォーム補助金支給率	補助額/予算額		%	目標	100	100	100	100			
					実績	92.4	94.4					
	転入リフォーム補助金支給率	補助額/予算額		%	目標	100	100					
					実績	20	80					
					目標							
				実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	8 土木費	項	4 住宅費	目	1 住宅管理費	
			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金	200 千円		800 千円		1,000 千円					
		県支出金	千円		千円		千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	千円		千円		千円					
		一般財源	9,439 千円		10,479 千円		11,000 千円					
		計(A)	9,639 千円		11,279 千円		12,000 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	5.627 人	34,424 千円	5.627 人	34,261 千円	5.627 人	34,000 千円				
		臨時・嘱託職種	事務補助員		事務補助員		事務補助員					
臨時・嘱託工数・経費		0.500 人	940 千円	0.500 人	942 千円	0.500 人	940 千円					
全体事業費(A+B)		45,003 千円		46,482 千円		46,940 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	近年は、市民からの関心度が非常に高く、確保している予算以上に補助申請があり、住民満足度の向上や定住人口の維持・増加、地域経済活性化への波及効果も期待できます。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	他部所で助成している補助事業と組み合わせることで、耐震化やバリアフリー化などと共に、定住促進効果が見込めます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない		<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	コロナ禍において、在宅時間が増えたこともあり、リフォームの需要も増えています。定住リフォームには、予定を上回る補助金申請があり、十分目標は達成していますが、転入リフォームについては、年度によりばらつきがあります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	他の市町村と事業についてのノウハウを共有し、事業を行っているため効率的です。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	3	3	4	A	4	3	3	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	「定住促進リフォーム」では、補助申請数が年度により違うため、申請額に対し予算額の過不足が生じている。予算以上に申請があった場合には、補助対象者を抽選し決定しているため、申請年度に補助を受けることができない方がいます。 また「転入促進リフォーム」では、市外の方への周知等が十分にできていないため、転入者の行うリフォームが事業の対象になるにもかかわらず、事業を活用できない方がいます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	定住人口の維持・増加、地域経済の活性化に寄与するため、他の自治体の助成内容や方法を参考にして、事業の継続・拡充を図ります。					安全・安心な住環境づくりや定住人口の維持・増加、また地域経済の活性化が図れる好評な事業です。今後も転入者の方に向けた広報を充実させ、適正な事業の継続・拡充を図ります。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	29	4	基本事務事業名	一般住宅支援事業	事務事業名	老朽危険空き家・空き建築物除却支援補助金事業	公的関与	5	シート作成日	令和4年8月10日				
	部局名	建設部		課名	住宅課	主務課長名	妹尾 光雄	シート作成者名	松永晃						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等							
	総合計画	基本構想(政策)	5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 住宅施策の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 24 年 ~	令和 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	(2) 良質・安全な住宅建設及び改修の促進				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	阿波市老朽危険空き家・空き建築物除却支援事業補助金交付要綱						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市に存在する老朽危険空き家・空き建築物の所有者等												
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	地震等による倒壊で道路を閉塞する恐れのある老朽化して危険な空き家・空き建築物について、その所有者等が解体・撤去又は処分に係る工事を行う場合に、その経費の一部を助成することで、地域の防災性の向上や住環境の整備改善を図ります。											
			今年度	所有者等に空き家・空き建築物の解体・撤去又は処分に係る工事の実施を促し、除却を推進することで、地域の防災性の向上や住環境の整備改善を図ります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 老朽危険空き家・空き建築物除却支援事業補助金の広報事務を行います。														
	② 補助金交付申請受付及び交付決定に関する事務を行います。														
	③ 実績報告書提出による現地確認等の交付確定事務を行います。														
	④ 空き家対策計画の改定を国・県の状況や社会情勢を勘案して行います。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標							
	空き家・空き建築物除却件数	実績	件	目標	10	18	10	100							
				実績	12	11									
					目標										
					実績										
					目標										
				実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考									
		国庫支出金	3,532 千円	3,175 千円	7,575 千円										
		県支出金	千円	千円	千円										
		地方債	千円	千円	千円										
		その他特定財源	1,650 千円	1,587 千円	4,348 千円										
		一般財源	1,883 千円	1,589 千円	1,500 千円										
	計(A)	7,065 千円	6,351 千円	13,423 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	5.627 人	34,424 千円	5.627 人	34,261 千円	5.627 人	34,000 千円							
		臨時・嘱託職種	事務補助員		事務補助員		事務補助員								
臨時・嘱託工数・経費		0.500 人	940 千円	0.500 人	942 千円	0.500 人	940 千円								
全体事業費(A+B)		42,429 千円	41,554 千円	48,363 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	市内には、「老朽危険空き家・空き建築物」が多く存在し、年々除却戸数も増加しています。このまま事業を推進することによって、地域の防災性の向上や住環境の整備改善が図れます。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	老朽危険空き家・空き建築物の問い合わせは年々増加傾向にあり、事業を継続することにより、災害時の避難路の安全確保や住環境の整備改善に有効であります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない		<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	毎年度の除却目標に対しては、十分に達成しています。今後も、緊急性のある老朽危険空き家・空き建築物について、所有者等に対し除却等の工事の実施を促し、防災性の向上と住環境の整備を図ります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	国・県より補助してもらえるため、補助金の上限がありますが、補助率が3/5と高いため効率的に事業が進められます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	3	3	4	A	4	3	3	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	住民からの地域における老朽危険空き家・空き建築物の相談は、年々増加傾向にあります。しかし、所有者等の特定ができない建物や所有者に除却する意思があっても、資金不足により除却できず放置している空き家・空き建築物が多いのが現状です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	関係機関に照会を行うなどして所有者等を特定し、老朽危険空き家・空き建築物の危険性を説明・理解してもらい、補助金を有効に利用してもらうことで、老朽危険空き家・空き建築物の除却を推進します。					老朽危険空き家は倒壊の危険性のみならず、犯罪や火災を誘発するおそれがあり、地域の住環境づくりを進めるうえにおいても除却支援事業は重要な事業です。今後においても事業内容の周知を行い、地域と連携した取り組みを進めます。								
委員会指摘事項														